

水道の凍結にご注意

思いがけない水道管の凍結によって水が使えなくなるばかりでなく、修理代などの思わぬ出費を防ぐためにも、就寝前や寒くて風の強い日中のちよつとした外出のときでも、水を落とすことをおすすめします。

水の落とし方

蛇口を開け、水を流したままにして水抜き栓のレバーかハンドルを操作すると水が抜けていきます。新しい建物では電動式が多く、水抜きボタンを操作することで水道管の中の水が落とせます。停電後などは水が落ちていない状態になっていることもありますので確認してください。

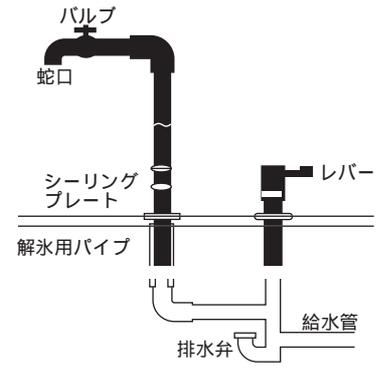
日頃から水の落とし方を確認しておく事が大切です。

トイレの水の落とし方

タンクのハンドルを「大」の方向に回し、タンクの水を出しながら水抜き栓を閉めてください。水の入れ方は、タンクのハンドルを軽く動かしてから水抜き栓を開けてください。

水落ちの確認

蛇口に手を当てると吸い付けられる感じがします。また、水を入れたコップ

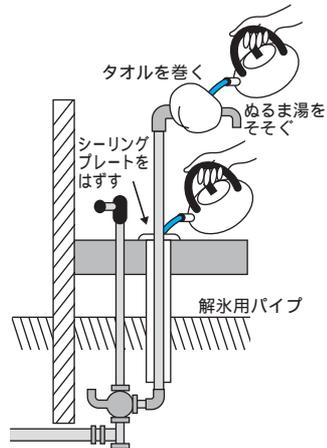


プを蛇口に当てると水が吸い上げられます。

もし水道管が凍結したら

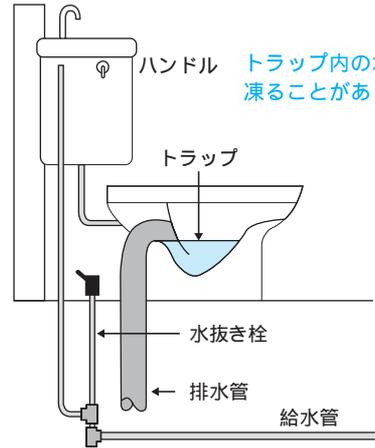
- 蛇口や管にタオルを巻いて、ぬるま湯をかけてください。
- 床下の部分に解氷用パイプが取り付けられていれば、シーリングプレートを外し、ゆつくりぬるま湯を入れると床下の解氷ができます。

※電気解氷機や蒸気解氷機を使用して解氷する場合、正しい使い方をしないと事故の危険性がありますので、なるべく苦小牧市指定の給水装置工事業者に依頼してください。



もしトイレが凍結したら

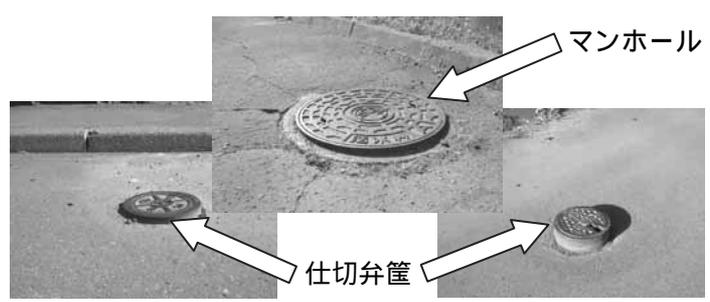
タンクや便器は陶器ですから、熱湯をかけると破損する恐れがあります。必ずぬるま湯をかけて、ゆつくり溶かしてください。



トラップ内の水が凍ることがあります。

仕切弁・マンホールの飛び出しにご注意

苦小牧市では、道路上にある仕切弁筐やマンホールの飛び出し、破損等についてパトロールを行い、危険箇所があれば修繕しています。仕切弁筐やマンホールが大きく飛び出している、つまずくこともあり危険です。危険箇所を発見したときは、下記へご連絡ください。



仕切弁筐は
水道管理課配水管係
TEL 32-6701

マンホールは
下水道計画課管理係
TEL 32-6604

カレンダーを差し上げます

今年も「おいしい水苦小牧」のポスターを昨年同様カレンダーにしました。ご希望の方に差し上げます。自由にお持ち帰りください。

- 作成枚数 5百枚
 - 配布場所 市役所正面玄関案内前のぞみ出張所
 - 配布開始日 12月10日(金)
 - 勇払出張所
- ※なくなり次第終了とします。